



ゾーン名 1.【天竜峡上流 松川町～飯田ゾーン】

1-1 ゾーンの特徴

- ・ 散策やサイクリング等に適した堤防道路やカヌーのできる瀬があり、人が集まり楽しめる場所となっています。
- ・ 随所に景観良好な峡谷があり、岩石や樹林が自然のままに落ち着いた美しさを醸し出しています。
- ・ アカシアやドロヤナギ等が茂る中州があり、多様な動植物が生息・生育しています。
- ・ 寄州の林の中に溶け込むような風情が感じられます。
- ・ 最大の氾濫原であった川路・龍江が整備されました。

1-2 整備・保全・利用の方針

- 1.天竜川を多種多様に利用します。
- 2.伊那谷の宝である峡谷をそのまま後世に継承します。
- 3.寄州・中州・ワンド・瀬淵の機能を自然の流れのままに保全します。
- 4.川が持つ浄化機能を活かして清流を取り戻します。
- 5.洪水危険区域を熟知し、流域住民の自己責任により洪水被害の最小化を図ります。

1-3 具体的な方策として

- ・ 歩行空間と休憩所・ピオトープの整備を行います。
- ・ 親水施設のネットワーク化を図ります。
- ・ 随所で利用案内を行い、天竜川を訪れる人を増やします。
- ・ 川路・龍江の広大な河川空間をそのままに利用します。
- ・ 川の中はカヌーやサイクリングなどの場として大いに利用します。
- ・ 天竜峡・鷲流峡の現状を保全します。
- ・ 峡谷の景観を損なわない治水を行います。
- ・ 鳥類の飛来地となっている寄州・中州を保全します。
- ・ 水質浄化の機能を持つ中州を保全します。
- ・ 魚の保護のために中州や瀬淵を保全します。
- ・ 寄州・中州・ワンド・瀬淵の保全は治水との調整を図った上で行います。
- ・ 適切な情報を伝達します。

- ・ 高水敷に小川を掘って伏流で浄化された水の流れをつくります。
- ・ 寄州の植生を活かして天竜川の水を浄化します。
- ・ 公開されたハザードマップの意味を理解し洪水時の危険性を熟知します。
- ・ 霞堤の機能を活かします。
- ・ 川に負担のかからない土地利用を心がけます。

などが考えられます。

ゾーン名 2.【片桐松川ゾーン】

2-1 ゾーンの特徴

- ・ 多量の土砂が片桐ダムに堆積しています。
- ・ 災害に備えた堰堤、砂防ダムが多く存在します。
- ・ 下流は子供の遊び場として様々な目的で楽しむことができます。
- ・ 流域では良好な水質が保たれています。
- ・ 整備中の親水施設は、景観に配慮されています。

2-2 整備・保全・利用の方針

- 1.人工と自然が調和した冒険心を育む場所とします。
- 2.片桐松川の清流を守ります。
- 3.土砂が適切に管理された場とします。

2-3 具体的な方策として

- ・ 整備と保全を行うところを場所別に定め、様々な接し方の出来る川とします。
- ・ 川を使う側の視点からの整備や保全を行います。
- ・ 川の面白さや恐さを学び、世代間で継承できるような場所とします。
- ・ 子供が自分達で川の魅力を発見できるような場所とします。
- ・ 現在の良好な水質を保全します。
- ・ 片桐ダムでは土砂の堆積による機能の低下を防止します。
- ・ ダム下流では、現在の巨石を維持・保全するなど、巨石の適度な確保を行います。

などが考えられます。

ゾーン名 3.【小渋川ゾーン】

3-1 ゾーンの特徴

- ・ ダム上流の水が発電等に利用されています。
- ・ ダムは治水上大きな意味を持つ所となっています。
- ・ 上流の国立公園には有名な登山ルートがあり、登山客に親しまれるとともに良好な景観が確保されています。
- ・ 小渋川ではダムからの放流により水量が復活し、良好な自然を取り戻しつつあります。